

目的・背景

中山間地域に位置付けられる神石高原町ではドローン活用への取組みが積極的に進められており、弁当配達等多くの実証実験が行われています。しかし、LTE不感エリア（携帯電話の電波が届かないエリア）が存在するため、ドローンの飛行ルートを柔軟に設定することが難しく、通信の安定性確保が課題になっていました。

事業概要

神石高原町におけるLTE不感エリアに屋外長距離通信可能なWi-Fi HaLow環境を構築して、ドローンによる食品配送の実証実験を行いました（2024年12月24日）。国道沿いの道の駅（さんわ182ステーション）⇔ゴルフ場（神石高原カントリークラブ）⇔時安社会教育施設の各区間を実証ルートとし、ルート上にWi-Fi HaLow環境を構築してドローンを安定飛行させること、また、ドローンの飛行ルート下にいる人物を“ドローン自身が”自動検知し、“運行管理者”の指示により安全な場所に着陸させることを実証しました。

今後の展望

今回の実証事業を通じて、社会実装に向けた技術面・運用面の課題を認識しました。将来の本格的な実運用に向けて課題解消のための対応を進めることで、ドローン配送で町内や各拠点を繋ぎ、高齢化が進む地域住民の買い物利便性の向上につなげていきます。

実施主体	EYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社
実施場所	神石高原町
活用技術	Wi-Fi HaLow
支援事業	令和6年度「地域デジタル基盤活用推進事業（実証事業）」



実証ルート



人物自動検知

人物検知メッセージ